

留学だより

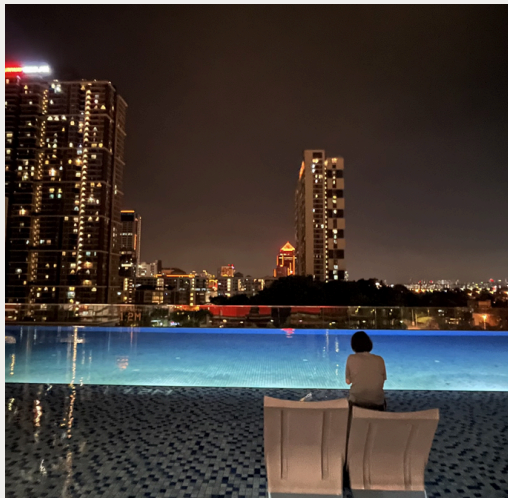
105期卒業生 今井緋奈子

こんにちは。森村学園105期卒業生の今井緋奈子です。去年3月に小学校三年生から高校三年生までの約十年過ごした森村学園を卒業しました。今はマレーシアにあるテイラーズ大学(Taylor's University)に進学し大学生活を送っています。今ちょうど一学期が終わり、日本に帰国しています。少しでも後輩や未来の後輩にマレーシアでの留学生活についてお伝えできればと思っています。

なぜ留学?なぜマレーシア?

まず私がマレーシアに進学した理由についてお話ししたいと思います。
私が高2の時は特にやりたいことが決まっておらず、とりあえず国内の大学への進学を考え予備校に通い受験勉強をしていました。しかし高3になり自分自身が将来何をしたいのかよく考えた時に、グローバルな今の時代私の目指す将来像を実現するためには自由が利く大学生のうちに多くのことを経験したいと思い留学を決意しました。

マレーシアの大学を選んだ大きな理由は教育システムの柔軟性と文化の多様性です。マレーシアの大学で特徴的なのは、イギリス式のシステムが採用され欧米各国にある多くの大学と提携していることです。私は今Foundation in Businessというコースに通っていて今年の夏からは、オーストラリアやイギリスの大学に編入できるビジネス学部付属の学科に進学予定です。テイラーズ大学にはイギリスやオーストラリアの大学に2年次から進学できるコースが学部によって設けられており、将来の自分が学びたいこと、やりたいことに合わせて学習プランを自分自身でそれぞれ組み立ていきます。



また学生の国際色もとても豊かです。学生の3割程度は留学生で日本・韓国・中国などの東アジア系から、中東諸国やヨーロッパからきている学生まで様々です。現地学生は中華系、インド系、マレー系にルーツをもつ人たちがおり毎日様々な文化圏の人たちと関わる事が出来ます。このような経験は日本では中々できない留学ならではの魅力です。

私がマレーシアで実際に暮らしてみて一番感じたことは生活の快適さが日本とほぼ変わらないということです。物価もそれほど高くはなく、気候も温暖で日中は暑いですが朝や夕方以降は涼しくとても過ごしやすいです。さらにAEONや伊勢丹、DAISOや無印良品など日系のお店がクアラルンプールには沢山あります。そのため生活面で困ることはほぼないかなと思います。

学校生活について

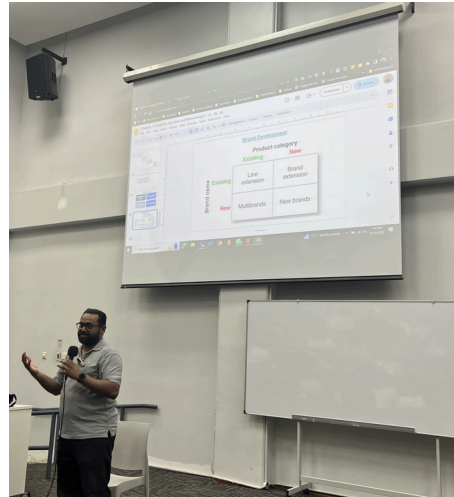
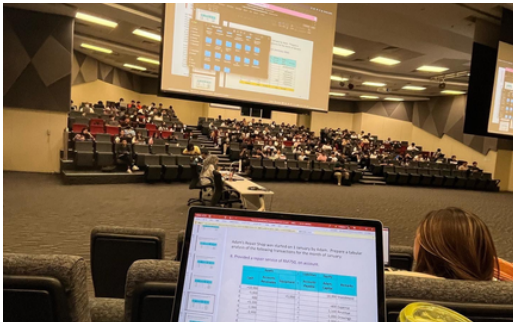
私が通っているビジネスコースは日本人の学生は比較的に少ない上に、海外からマレーシアに来ている留学生は他国の大学への編入を目指す生徒が多く上昇志向が高いです。現地生にはすでに自分で会社を立ち上げ、自身のビジネスを持っている生徒が一定数おり現地生のモチベーションもかなり感じられます。ビジネスコース以外にもリベラルアーツや建築・IT関連・ホスピタリティなどが主要な学部です。さらに調理技術を学ぶカリナリーコースという日本では中々聞くことのない珍しいコースもあります。

Foundationで学ぶ一年のカリキュラムはかなり専門的です。

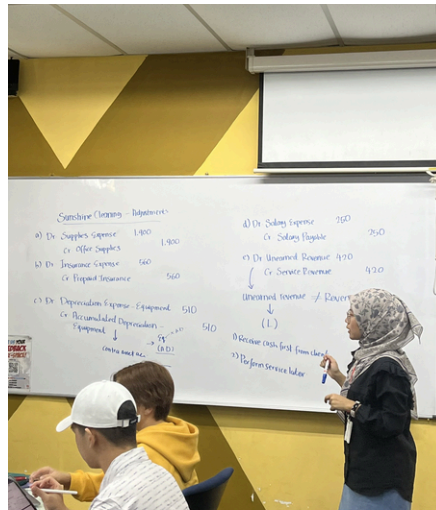
- マーケティング
- アカウンティング（日本で簿記にあたるもの）
- 企業理念
- ビジネス法学
- 経済
- 構造的・創造的思考技術（森村で行っている言語技術のようなもの）

この他にも数学や英語などを様々な科目を一年間で履修します。

授業は1つの科目あたり基本的に2種類あり、LectureとTutorialというクラスに分かれています。Lectureでは大学の授業でよく見るような大規模な講義室で200人程度生徒が授業を受けます。

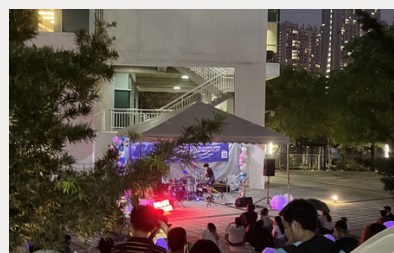


Tutorialクラスは1クラス30人程度の小規模クラスで講義で学んだ内容の復習や応用をします。1回のLectureクラスにつき1回Tutorialクラスを行い、理解度を高めます。このシステムによって授業に対する理解度が上がり個人的にはとても気に入っています



授業以外にもたくさんのイベントが学内で常開催されており、賑わいが感じられます。新入生が入学してくる1月・4月・9月には新入生歓迎会やDJイベントなどが定期開催され、自らが通っているコース以外の学生とふれ合い交流できる貴重な機会です。

昨年八月に開催された新入生のwelcome partyの様子を少し共有します！多くの生徒が集まりとても楽しいイベントでした。今後も様々なイベントを通じて私自身も交友関係を広げていきたいと思います！



今回のマレーシア留学紹介は以上になります。
最後まで目を通していただきありがとうございました！